



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和8年9月25日
学校だより10月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



校長 高村 彰一

夏休み明け、1か月が過ぎようとしています。この間、秋雨前線の影響で、各地で記録的な豪雨があり、今年度2度目の休校にもなりました。なかなか、天候が安定せず、過ごしにくい日々が続いています。皆さんにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

次なる成長へ導く 体験活動

先日、個別支援級の宿泊体験学習がありました。日頃から慣れ親しんでいる学校に泊まるということで、非日常の体験をすることができました。子どもたちが、夕刻の集合時刻に再登校してきたときの元気な「こんばんは」の挨拶。そして、満面の笑顔。日常の学校生活だけでは見ることできないものでした。この場面だけ切り取っても、非日常を実感しました。

本番では、さまざまな活動を楽しみました。真っ暗な廊下をランタンの明かりを頼りにキーワードを探したナイトウォーク、ひと足早く赤白に分かれてのミニ運動会、おいしいそうめんをおなかいっぱい食べ、改めて夏を感じたお昼ご飯。どの活動の中にも、子どもたちの笑顔が溢れ、とても楽しく充実した2日間になりました。

それぞれの活動を企画、運営する子。グループのリーダーをはじめとする役割をしっかりと担う子。宿泊全体をまとめる実行委員の子。それぞれに、自分の役割を自覚し、責任ある行動をとり、互いに協力しながら、和気あいあいと心地よい時間が過ぎていきました。

また、5～6年生の子どもたちは、自分のグループはもちろん、他のグループの下級生の身支度、とくに布団の準備や片付けを率先して行っていました。それぞれに聞くと、「前に自分たちもお兄さんお姉さんにやってもらってきたから」と素敵なコメント、子どもたちの成長を自他共に認める瞬間でした。きっと、その姿を見ていた下級生にも、受け継がれていくことでしょう。

もちろん、これらの姿は、当日だけがんばればできるような、あまいものではありません。本番を楽しく充実したものにするためには、それまでの準備が大切になることは言うまでもありません。互いに協力しながら、それぞれがベストを尽くし、それを周りで支えることで、絆が生まれていきます。その一体感こそ、本番でみんなが感じた心地よさだったのでしょ。

今月末には、4年生の宿泊が、そして約1か月後には、運動会があります。それぞれに自分の役割を自覚し、互いに力を合わせて成長する大きなチャンスです。自分のめあてをもち、みんなで協力しながら、全力を尽くし、それぞれに輝く姿が見られることを楽しみに、保護者、地域の皆様と共に、子どもたちの成長を見守り、支えていきましょう。